

— 第 1 部 —
水産業の動向

平成21年9月
宮城県

第1部 水産業の動向

1	水産業を巡る概況	1
	(1) 「水産業の振興に関する基本的な計画」の見直し	
	(2) 原油価格高騰に伴う漁業用燃油価格の高騰と一斉休漁	
	(3) 漁業用燃油価格高騰対策への県独自の取組	
	(4) 国際漁業再編対策に基づくまぐろはえ縄漁業の減船	
	(5) 岩手・宮城内陸地震の発生	
	(6) 沿海漁業協同組合の合併の推進	
	(7) 水産試験研究機関の再編	
	(8) 仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの開催	
	(9) みやぎ発展税の活用による水産加工業の振興、水産都市活力強化	
	(10) 相次ぐ食品の事故と食に対する安全性要求の一層の高まり	
	—コラム—	7
	● 燃油価格高騰による一斉休漁と国の補正予算対策	
	● 水産試験研究機関の再編	
	● 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」効果と今後	
2	水産業の現状	10
	(1) 本県水産業の特徴	
	イ 漁業・養殖業	
	(イ) 水揚げされる魚種の多様性	
	(ロ) 主な水産物の全国順位	
	ロ 水産加工業	
	(イ) 主な水産加工品と全国順位	
	(2) 漁業の概況	16
	イ 本県漁業の基本構造	
	(イ) 漁業経営体数	
	(ロ) 漁業就業者数	
	(ハ) 漁船隻数	

- ロ 漁業・養殖業生産
 - (イ) 海面漁業・海面養殖業の生産量
 - (ロ) 海面漁業・海面養殖業の生産額
 - (ハ) 主な漁業種類の生産動向
 - a. 遠洋漁業
 - b. 沖合漁業
 - c. 沿岸漁業
 - d. 海面養殖業
 - (ニ) 主要魚種別生産
 - (ホ) 内水面漁業

ーコラムー 28

- 漁業者団体等の活躍（その1）ー食アメニティコンテスト・農山漁村いきいきシニア活動ー
- マグロ資源の国際的資源管理と減船について
- 秋サケ水揚げ金額35億円突破
- サケ稚魚の海中飼育について
- ライフジャケット着用推進の取組について
- 韓国の水産物輸入規制強化
- 国際捕鯨委員会(IWC)の動向について

(3) 水産物の流通・加工の概況 35

- イ 水産加工生産
- ロ 産地魚市場の水揚げ状況

ーコラムー 39

- 県内3地区の求評見本市
- 平成20年度農林水産祭で株式会社カネダイが日本農林漁業振興協会会長賞を受賞
- 「三陸塩竈ひがしもの」ブランド化の取組が「第1回食材王国みやぎ推進優良活動表彰」で表彰
- 第1回「富県宮城グランプリ」表彰
 - ー気仙沼漁業協同組合, (株)木の屋石巻水産ー

(4) 漁業経営の概況 43

イ 漁業経営体の経営収支

(イ) 遠洋・沖合漁業

(ロ) 沿岸漁業・海面養殖業

(ハ) 漁業共済制度

(ニ) 漁船保険制度

ロ 水産業協同組合の現況

(イ) 水産業協同組合の運営状況

- ーコラムー 51
- 漁協合併の推進について
 - 水産業経営相談室の開設について

(5) 漁業生産基盤整備 53

イ 漁港漁場等の整備

(イ) 漁港の整備

(ロ) 漁場の整備

ロ 漁業生産施設等の整備

- ーコラムー 58
- 漁港漁場整備長期計画について